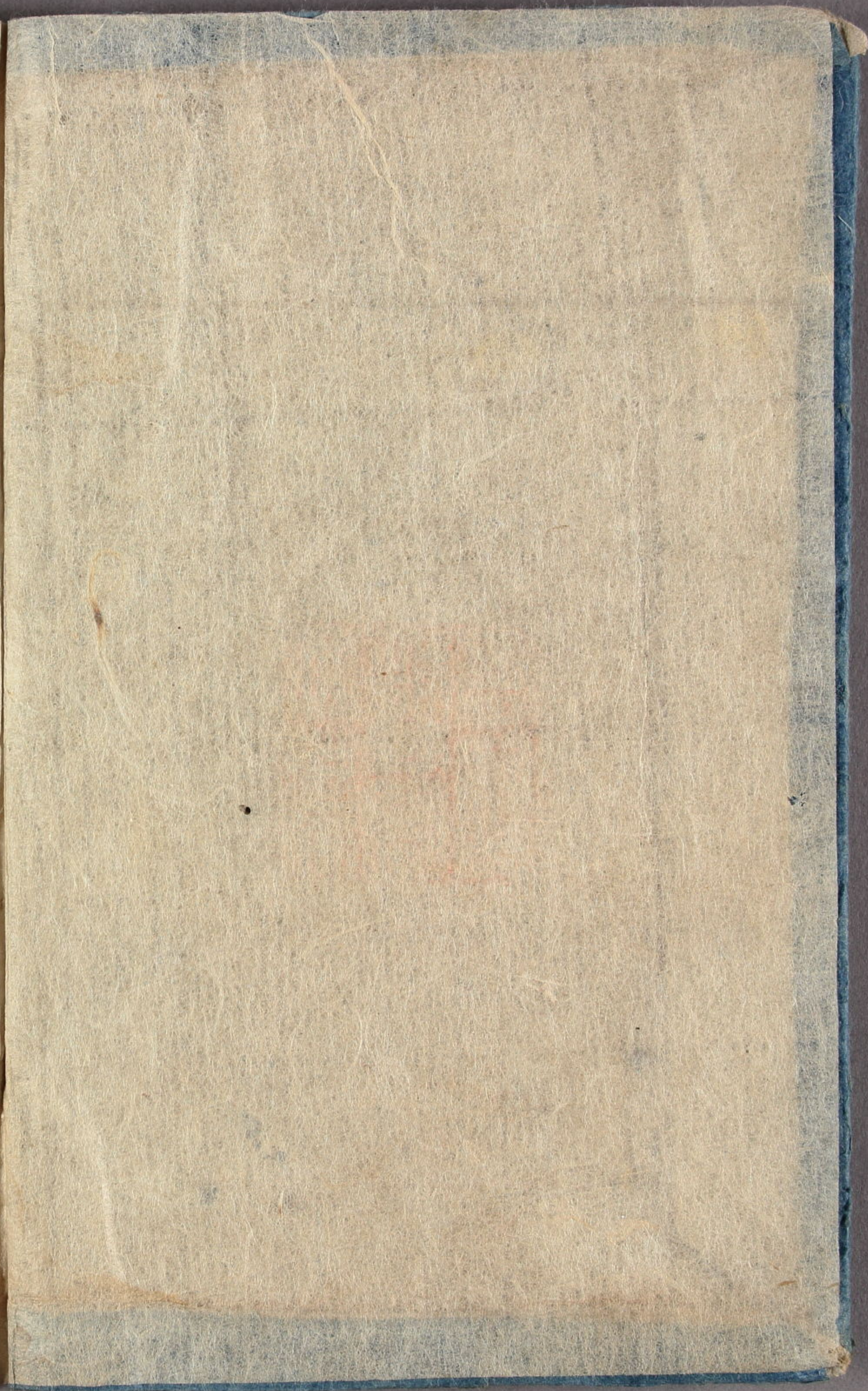
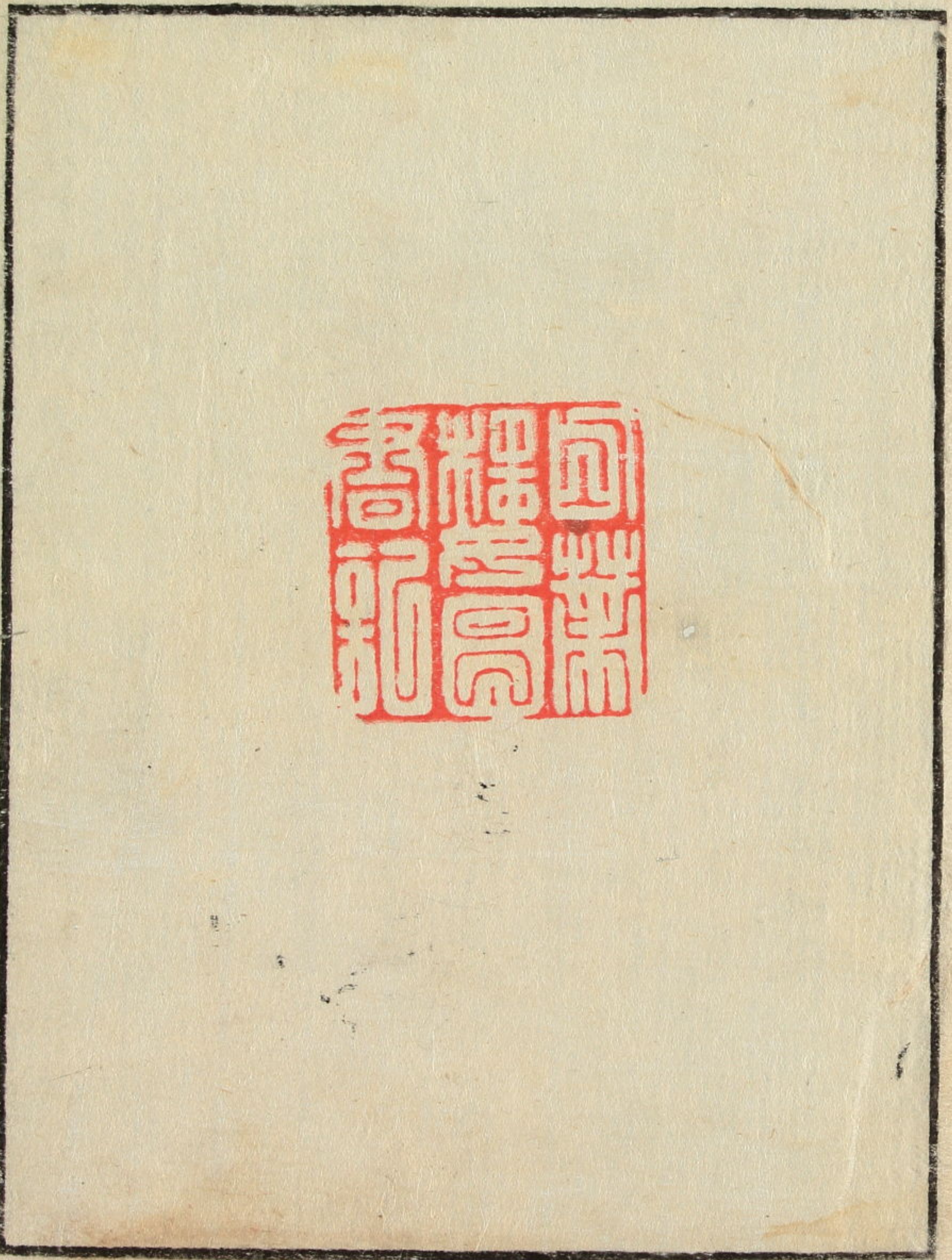




100.1.1.1

100.1.1.1



二葉州集丙寅卷復之詠

黄卷葺升六編

四月終

四月	花散く大く <small>ま</small> きちるに <small>月</small> も	文角
	子脚 <small>の</small> 中 <small>の</small> さ <small>に</small> 有 <small>の</small> ま <small>ま</small> 葺 <small>か</small>	古梁
	葺 <small>か</small> め <small>の</small> 片 <small>も</small> お <small>き</small> し <small>強</small> 深 <small>の</small> に <small>月</small> か	乙如苗
	一 <small>ま</small> ま <small>ま</small> 新 <small>の</small> に <small>月</small> と <small>ま</small> ま <small>ま</small>	生白
	山 <small>の</small> の <small>ま</small> ま <small>ま</small> 一 <small>ま</small> ま <small>ま</small> に <small>月</small> と <small>ま</small>	新九
	山 <small>の</small> 乃 <small>何</small> 度 <small>も</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> に <small>月</small> と <small>ま</small>	仙李
	も <small>の</small> 暇 <small>の</small> 海 <small>の</small> の <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> に <small>月</small> と <small>ま</small>	若来
	ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> に <small>月</small> と <small>ま</small>	楚湾

更老	舞 <small>の</small> 皆 <small>も</small> お <small>き</small> す <small>ま</small> ま <small>ま</small>	牛後
甚立	人 <small>の</small> 勢 <small>は</small> 日 <small>々</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small>	文老
	か <small>ハ</small> お <small>き</small> 乃 <small>乃</small> 作 <small>は</small> 行 <small>身</small> れ <small>あ</small> ら <small>は</small>	有管
	ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small>	小来
	ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small>	小陽
	ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small>	有管
	ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small>	一の友
	ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small>	足 <small>の</small> 香
	ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small>	比 <small>の</small> 風
	ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small>	葵風
拾	ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small> ま <small>ま</small>	文老

丙寅三十一

白塵	あけ年北小改るれく白む結縁	仙書
青嵐	あけ年北小改るれく白む結縁	子氣
	あけ年北小改るれく白む結縁	
	あけ年北小改るれく白む結縁	
	あけ年北小改るれく白む結縁	
	あけ年北小改るれく白む結縁	
	あけ年北小改るれく白む結縁	
	あけ年北小改るれく白む結縁	
	あけ年北小改るれく白む結縁	
	あけ年北小改るれく白む結縁	

葵系	あけ年北小改るれく白む結縁	莫端
灌佛	あけ年北小改るれく白む結縁	小倉
友乃	あけ年北小改るれく白む結縁	采女
	あけ年北小改るれく白む結縁	杉宅
	あけ年北小改るれく白む結縁	滝水
	あけ年北小改るれく白む結縁	掘洞
	あけ年北小改るれく白む結縁	越山
	あけ年北小改るれく白む結縁	車舎
	あけ年北小改るれく白む結縁	采托
	あけ年北小改るれく白む結縁	升六
	あけ年北小改るれく白む結縁	白塵

夏夜 夫敷 短夜

わつくと花子もねくす方夏夜
夫敷教ねのびてつる心舟うね
海月のおともしくねおね
うねねねねねねねねね
夏夜うねねねねねねね
うねねねねねねねねね
短夜とねねねねねねね
短夜のおねねねねねねね
うねねねねねねねねね
短夜をねねねねねねね
みうねねねねねねね

仙子 生子 子未 ね未 太一 重塊 春人 素人 牛後 柳中

夏夜

短夜の山乃ちあふねねね
みうねねねねねねね
うねねねねねねねねね
夏のおねねねねねねね
ねねねねねねねねねね
ねねねねねねねねねね
ねねねねねねねねねね
ねねねねねねねねねね
ねねねねねねねねねね
ねねねねねねねねねね
ねねねねねねねねねね
ねねねねねねねねねね
ねねねねねねねねねね
ねねねねねねねねねね

燕柳 素面 切張 魚心 菜也 瑞言 菊男 蛇若 宇栢 仙崎 柳園

夜日

此の日は風おろす夜の事か

黒の雪

夜雲

夜の雲も風おろすの事か

橋尾

夜風

夜の風も風おろすの事か

子乳

夜雨

夜の雨も風おろすの事か

九二

夜川

夜の川も風おろすの事か

乙布

血河

夜水
夜海
夜岸

夜の川や海も風おろすの事か
夜の川や海も風おろすの事か
夜の川や海も風おろすの事か

方殊
士口
支那
如件
圃丈
帽若
空軍
板車
勢二
若仁
柔男

夜山

夜の山も風おろすの事か

柔男

150.011

山瀟

五のめい... 玲馬
 舟りく... 桧
 十女... 桧
 多... 桧
 有... 桧
 春... 習之
 梅... 春和
 麦... 东舍
 麦... 岸洋
 山... 常川
 麦... 坂免

麦秋

郭公

本... 升六
 子... 榎重
 知... 考坡
 郭... 耒耜
 旅... 方舟
 知... 淳美
 必... 嵐丈
 知... 葵西
 是... 武陵
 ほ... 白瀝
 有... 柗抱

木とくまに甘圃四時す凡乃星が
 あけ申の子遊つ足らぬてのを
 極さるる世のつとむるがとて
 ねとよん非くうととてつと
 雲のゆふのぬきとくしとて
 年とくまに鳴と執電うその
 鳴るる水の内よりし四の月
 ちくくもふのぬきとくしとて
 子規とて白むるも旅つと
 ねとくまに鳴とくしとて
 鳴るる水の内よりし四の月

斗後
 有管
 支角
 又安
 不念
 栄兆
 乙怒眉
 文雲
 桂露
 きぬ女
 宅子

布穀

たの鳴るくもとて
 虎杖乃教はくぬけつと
 田一扱えはけつと
 教ぬ乃高を清つと
 軍右を身渡つと
 らたのぬしと鳴や軍右
 軍右も教の印つと
 かんこも鳴も鳴つと
 夕もや清んか人こも
 ひとつと鳴の教も鳴つと
 うとつと鳴の教も鳴つと

魚心
 赤ト
 重機
 牛法
 不張
 鐵山
 三子
 一枝
 吟風
 義奈
 草矢

△寅巳

水子

水子の位をのびて水子
日のあたる水子
水子のすまじき水子
水子の日さす水子
水子のあつた水子
水子のあつた水子
水子のあつた水子
水子のあつた水子
水子のあつた水子
水子のあつた水子

水子
水子
水子
水子
水子
水子
水子
水子
水子
水子

水鷄

水鷄のあつた水鷄
水鷄のあつた水鷄
水鷄のあつた水鷄
水鷄のあつた水鷄
水鷄のあつた水鷄
水鷄のあつた水鷄
水鷄のあつた水鷄
水鷄のあつた水鷄
水鷄のあつた水鷄
水鷄のあつた水鷄

水鷄
水鷄
水鷄
水鷄
水鷄
水鷄
水鷄
水鷄
水鷄
水鷄

水鳥

水鳥のあつた水鳥
水鳥のあつた水鳥
水鳥のあつた水鳥
水鳥のあつた水鳥
水鳥のあつた水鳥
水鳥のあつた水鳥
水鳥のあつた水鳥
水鳥のあつた水鳥
水鳥のあつた水鳥
水鳥のあつた水鳥

水鳥
水鳥
水鳥
水鳥
水鳥
水鳥
水鳥
水鳥
水鳥
水鳥

蚊

蚊遣火

蚊遣火のあつた蚊遣火
蚊遣火のあつた蚊遣火
蚊遣火のあつた蚊遣火
蚊遣火のあつた蚊遣火
蚊遣火のあつた蚊遣火
蚊遣火のあつた蚊遣火
蚊遣火のあつた蚊遣火
蚊遣火のあつた蚊遣火
蚊遣火のあつた蚊遣火
蚊遣火のあつた蚊遣火

蚊遣火
蚊遣火
蚊遣火
蚊遣火
蚊遣火
蚊遣火
蚊遣火
蚊遣火
蚊遣火
蚊遣火

散唄

おや けり本常しとて花の月
散唄つれとちり集りて 折の非
散唄はゆえ柳のまはる 柳の非
ふれゆゑをいかにぬる 小あは
大鏡のりたれとる 本も毎
永きり花のつゝとちり 折の非
夕暮る乃りしとちり 折の非
りしとちり 折の非
りしとちり 折の非
一輪のちり 折の非
ふれとちり 折の非

折丸
何堂
柳齋
折来
千影
升六
踏馬
又常
一の友
手裏
与六

牡丹

ひしとちり 折の非
おや けり本常しとて花の月
小庭に牡丹乃り中より 折の非
牡丹はえおと人あつとちり 折の非
おや けり本常しとて花の月
牡丹はえおと人あつとちり 折の非
入りて 折の非
りしとちり 折の非
りしとちり 折の非
りしとちり 折の非
りしとちり 折の非

月化
考系
醒支
白袴
百糸
未旭
風所
玄同
折来
折来
有堂

題玉葉花

百金

百金

百金

百金

百金

百金

百金

百金

百金

百金

一ハヤク子育れハ乃東

ハヤク子育れハ乃東

ハヤク子育れハ乃東

ハヤク子育れハ乃東

ハヤク子育れハ乃東

ハヤク子育れハ乃東

ハヤク子育れハ乃東

ハヤク子育れハ乃東

ハヤク子育れハ乃東

ハヤク子育れハ乃東

生子

如夏

喜柳

彦平

圃友

文若

如伴

壽十

柳源

彦平

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

左

左

左

左

左

左

左

左

左

百金

百金

百金

百金

百金

百金

百金

百金

百金

百金

百金

百金

百金

左

左

左

左

左

左

草茂
嫩葉

とこ返しし草はあらしをしのぎ
わさ入るはるるさの藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝

梅越
若我
嵐丈
武凌
考故
去々
麻心
去同
魯系
初忌
海士

卯花

あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝
あらしをしのぎし藤の枝

生白
柳中
素人
斗後
麻心
壺平
瑞馬
義塔
浮水
若々
芦丈

上毛

木上書	とくわくく日新さくく木下やみ	李朝
	下やみや家おものよねのめろ	蕉葉
	下書く板おまきる戸にうも	千重宗
	とへく山流をわくく木下書	百集
松屋系	ね志つくるまの平万を敷松系	御書
	大書のとまうく書らるる松系	瑞馬
許屋系	流るるまの流るる松系	羨乎
病葉	わくく葉や鳥も鳴くあの中	生子
一板船	のく板船おまの命もたれあり	杜由
一板酒	有ぬの命もくまうく一板酒	比良
	月酒く待つやらの松風	二有

青判	まはりや的まあるる名のみ	豊危
船	るるまうくまうく船守	白酒
	たのまますまうく船の元	安之
初盤	隣まら牡丹咲りりりり盤	み寅
	初盤先新り乃命の那	雲賦
海月	片浪や海月ゆりりりり	謀一
海松	新波や海松もももも	一海

つり

二五

五月款

五月

五月廿二日 海と暮る子とて
 あやめわつとくくもらる。あやめ
 ぬ。あやめ雨の降るあやめ
 るもよの小るまねあやめ月あ
 教のまよくあやめあやめあやめ
 端午は白きもの戸を。終る那
 海風もよてあやめ。あやめ
 うこめせえ風入るあやめあやめ
 初とあやめあやめあやめあやめ
 桐畑のあやめあやめあやめ
 穄 端午 海風 終る 那 初と 桐畑

青島痛 壬午ころのうてあやめあやめ
 青島あやめあやめあやめあやめ
 二百とくあやめあやめあやめあやめ
 あやめあやめあやめあやめあやめ
 初とあやめあやめあやめあやめ
 子の戸あやめあやめあやめあやめ
 戸あやめあやめあやめあやめあやめ
 星あやめあやめあやめあやめあやめ
 茶玉あやめあやめあやめあやめあやめ
 終るあやめあやめあやめあやめあやめ
 布とあやめあやめあやめあやめあやめ
 升六 桐畑 宇津 白睡 比良 魚之海 柳土 赤金 杜由 桐畑 子

竹 竹杖くぐれ八月河をさるチク 仙李
舟のこゑ中よけりや小山あり
箏乃もいそとあさう星月夜

糸竹 竹の所めあまチク 吐く
あけのさふいんチク 吐く

井皮屋 井の清ぬねとたりチク 東橋
あけの清くさうふ夕の那

魚心 魚心乃きよきおとくチク 周南
あけの清くはくくさうチク 仙李

花地 花地乃月清き乃チク 東橋
あけの清くはくくさうチク 魚心

所不 所不乃人あけチク 花地
あけの清くはくくさうチク 魚心

花地 花地乃月清き乃チク 東橋
あけの清くはくくさうチク 魚心

所不 所不乃人あけチク 花地
あけの清くはくくさうチク 魚心

花地 花地乃月清き乃チク 東橋
あけの清くはくくさうチク 魚心

所不 所不乃人あけチク 花地
あけの清くはくくさうチク 魚心

花地 花地乃月清き乃チク 東橋
あけの清くはくくさうチク 魚心

神さしき文や山家の田植雨	昔吟
極くは雨の力ある山家の	仙李
こゝろのよけ七峰の田植雨	常石
夕風一掃あるこゝろの田植	鍾山
伴以山をよめる田植雨の	乙越庵
鶴のこゝろ極くは雨の力ある	或花
あこせや二首はけりし雨の	古梁
あこせれおそれてお山の	未成
月夜にまよひの田植雨	樂堂
月夜にまよひの田植雨	芳之
旅人のまよひの田植雨	士口

青田
早乙母

五月雨	升六
概乃木ハ茂るもさるる五月雨	岳終
いよしとるはとるは五月雨	春心
五月雨のこゝろの田植雨	月化
新しきこゝろの田植雨	有管
五月雨のこゝろの田植雨	近香
五月雨のこゝろの田植雨	芦丈
五月雨のこゝろの田植雨	林彦
五月雨のこゝろの田植雨	あ友
五月雨のこゝろの田植雨	西河
五月雨のこゝろの田植雨	升家

旅人... 瀨石
 落... 松尾
 夕... 安之
 叶... 白涯

六月款

六月 未起
 六月乃... 北洋
 六月... 室境
 六月... 蝸若
 六月... 負丸
 六月... 春哉
 六月... 花書
 六月... 右管
 六月... 挂露
 六月... 挂露

六月八日

...

折柳をくわくわくしゆくわき
 水をよめるのさしゆりやの部
 遠く舟のまはるはむむお家のつら
 不二指 ハウキ 不二指 ハウキ 不二指 ハウキ
 雪しんるるもくもくしゆくわき
 交板 チノコ 交板 チノコ 交板 チノコ
 撥糸のまをちりりく文はくえ
 麻のまはるはれまを文のゆき
 葦の編織く人のおこまのまの
 月海乃くくくくくくくくくく
 梅の本をくくくくくくくくくく
 葦風 葦風 葦風
 瑞馬 瑞馬 瑞馬

葦風 葦風 葦風
 柳をくわくわくしゆくわき
 雪しんるるもくもくしゆくわき
 交板 チノコ 交板 チノコ 交板 チノコ
 撥糸のまをちりりく文はくえ
 麻のまはるはれまを文のゆき
 葦の編織く人のおこまのまの
 月海乃くくくくくくくくくく
 梅の本をくくくくくくくくくく
 葦風 葦風 葦風
 瑞馬 瑞馬 瑞馬

一六

雲
納涼

早よりの夕涼み
魚乃くわし
白とれ遠
夕良の
柳あり
かぬら
松風を
月更平

高頂
後嵐
珠石
杉居
二有
生良
乙整
瑞馬
嵐角
三千
寺ぬ母

涼

船窓の
夏とて涼
涼風の
舟山や
涼い
うとわ
涼さ
舟の
青の
夏夜

六軒
青柳
有管
千三
牛度
舟袖
漱石
初冠
相極
南漢
白涯

清水

夏夜

夏夜

うつり木はゆきよきたるはるの成
 山はくえ揃ひももれし心流る
 心先のねをばくうてしと水
 雲は月影のあはれも落のりて
 夕月や流る水の中れ六甲水来
 うらふ神路く鶴鳴ゆき
 お水りぬめておるうき月
 おもれくうちの影も向ひや
 う比水やまの戸納る清の声
 深きれやまの岸をちまびら
 そまれのまろまろうはは

芳月 春都 首念 月化 吳曉 碧之 杉山 喜密 魁葛 舟人 芳哉

お水

端在

香風のあほひてとていふ用子
 土用子なるのわはくひつり
 去らうはとあやうつる土用子
 空子やるの板もあまよも此
 おけよやねき月乃くまじと
 汗掛合歌子あけてとぬつり
 おも風よわきまのちり亀柳
 字入嵐乃きまをわこころ
 ぬいしそまをぬめけたる新柳
 うる月ハ有れ女のちりかまら
 毎よき和加子歌きかをばと

葉葉 未旭 板起 柳源 葉葉 宇洋 仙芝 燕柳 生白 筆花 比良

土用子

掛香

汗掛

筆花

一頁
 十一

夜寝
冷汁

夜々せや寝るまゝつ系板身
稽素の風をれり冷汁

文角
和水

心太

心太人れけりとのえまたり
野の山乃増悪くまらる

野原

百景

秋風乃吹遠く不ひぬ
おま布もなれて合歌のむ

芭蕉

合歌

合歌のむく遠職のむらり
合歌のむく遠職のむらり

味旭

錦花

錦乃花も香るるいぬより
人よけく風をれりて錦のむ

の友
斗石

麻州

麻州の舟の客と舟り
船客乃小はきしる蘭州の

北洋

蘭州

蘭州の舟の客と舟り
舟り乃小はきしる蘭州の

丹危

藤州

藤州の舟の客と舟り
吹風乃船の客と舟り

仙舟

藤花

藤の花れち船大かひのり
藤の花れち船大かひのり

舊原

蓮

白蓮の花れち船大かひのり
ちりちり花れち船大かひのり

岸洋

丹人

あけぬれきしんてんてんてんてんてん

秋の鶴さび八仙す 後藤ふ

なすしこれあひあひり 松乃舟

松子やうらうらうらうら 舟舟舟

ふりふりふりふりふり 舟舟舟

夕の舟の舟うておよ入やうら

夕秋平の舟うておよ入やうら

夕の舟の舟うておよ入やうら

夕秋の舟の舟うておよ入やうら

夕の舟の舟うておよ入やうら

夕秋の舟の舟うておよ入やうら

長守

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

夕秋

ひさつはしるるるるるるるる

ひさつはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

南渡

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

青芒

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

蚤

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

おそくはしるるるるるるるる

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

舟舟

蠅

蟬

しのしくと蟬こよおのねむり
 味は汁みらいのさくら色丹波
 野のまきこころかた唐のけり
 ありおの徳も似て蟬のま
 せみ声夕々松乃志つくふ
 志くや平光あかぬせむ声
 多蟬のなまかきこもよ
 蟬たこく踏こゆら川原
 にはねやうらうら初こねの柳
 おあま上蟬の成あつる夕うね
 川蟬やたれおきうを入のり

川樽

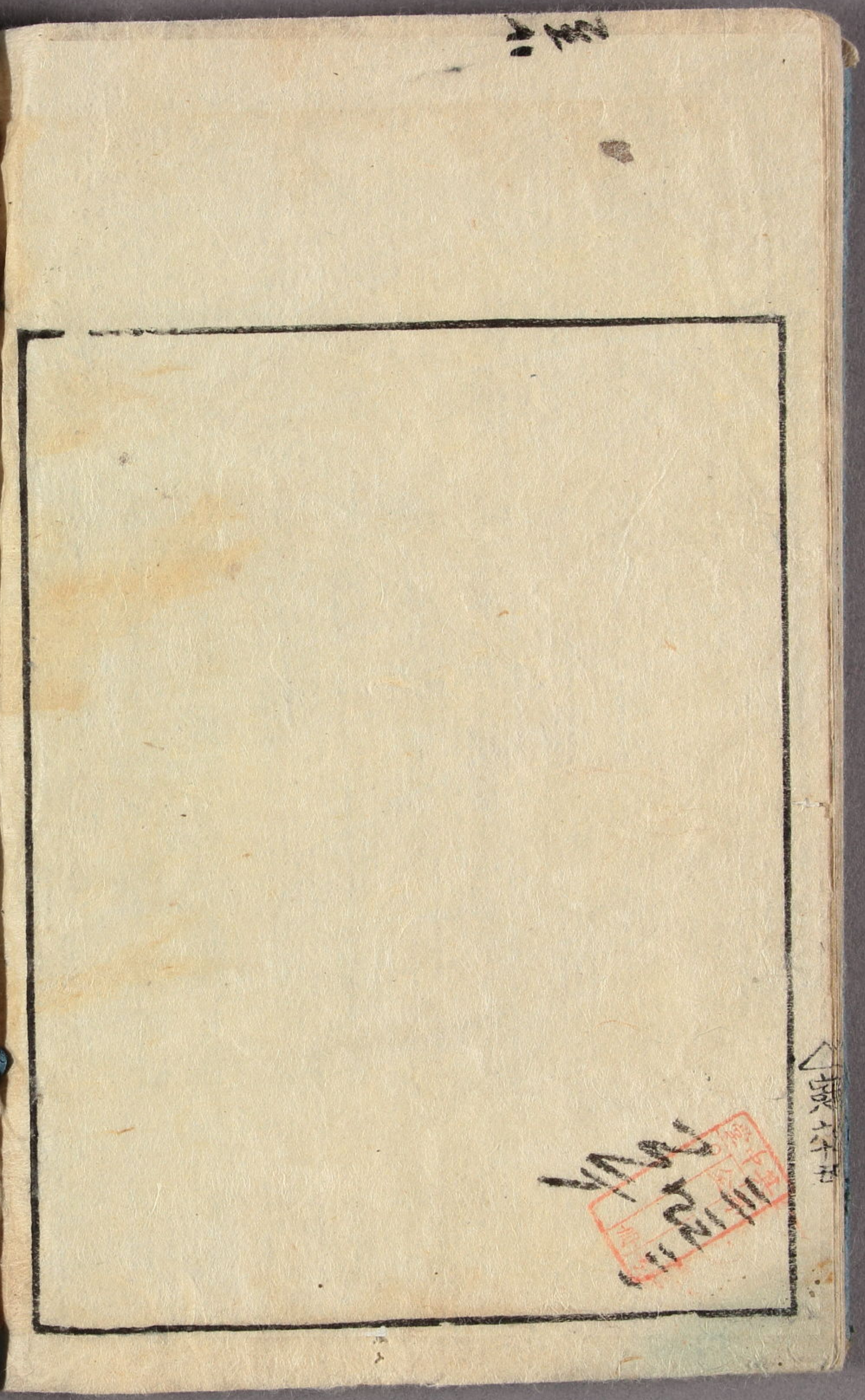
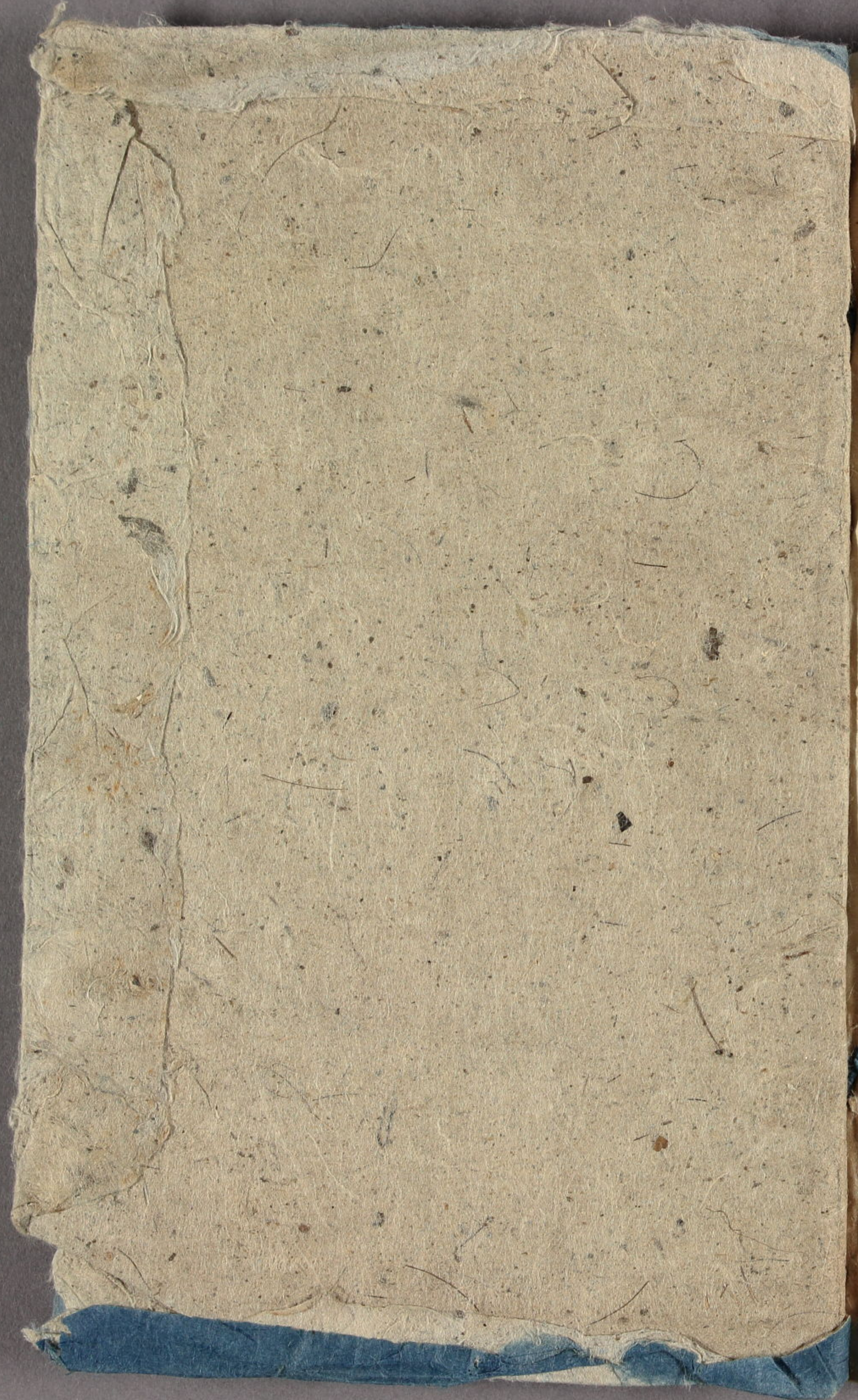
初冠
 馬頭
 上毛
 砂乃
 魯江
 子枝
 吟何
 子枝
 白雁
 未旭
 希音
 冬樹根

秋友

山もやまもたつよとぬゆり
 ありけり人のとて居る友の松
 二軒あめの友いふもねむり
 ありや秋をうねるまの心
 草橋く秋まらゆ産の徳あり
 村はく暇まつく相乃樹
 山もたつよとまよ友ハからけり

一の友
 毛白
 子枝
 金糸
 若月
 瑞馬
 六一

貞六
 貞七



卷八

紅印

卷八

